

YSS2012 アンケート回答まとめ

1) 時期、情報提供

【セミナー日程及びハノイ滞在期間】

<滞在期間 (10月3日～7日までの5日間) >

① **良い** 20件回答

* 就活の決まっている学生にとっては内定式が10月1日にあって、若干バタバタしたが、5日間という日程は本当に丁度よく、適していると思った。

② **良くない**

* 9月の終わり頃(本学では10月から研究室に配属されるので、その前に終わっていると有難い)
<開催期間 (木) (金) 2日間は>

① **ちょうど良い** 20件回答

②

【事務担当からの連絡及び情報提供】

・事務担当者からの連絡

普通 18件回答

* 作成していただいたエクセルの行程表により全体の流れがわかり易かった。

* 海外でのシンポジウム開催なので、不測の事態(今回のホテル変更など)は多々生じると思うし、その都度ごとに連絡をいただけるのは非常にありがたかった。ただ、出発直前で構わないので「これが最終版プログラムです!」という必要事項を一式取りまとめたファイル(それさえ持っていれば、いどこに行かないといけないかがわかるようなもの)をいただけるといっそうありがたかった。

* 事前の連絡がうまく取れているのか不安だった。グループごとに質疑が義務づけられていたが、その義務の捕らえ方が人、または国により異なっているように感じた。

【セミナー前で気になったこと】

* 事前にパソコンが必要だったのかとパワーポイントのファイル形式を指定して頂けるとスムーズだった。

* 十分な量の情報を頂き、特に問題なし。

* 適切な準備をして頂いたと感じている。

* 別日程で行動し大変お手数をかけたが、問題なく合流できた。

2) セミナー自体

【グルーピング】

① **良かった** 14件回答

* 良かったが、会場でグループごとに座るという約束が(会場の問題もあったが)反故になったのは残念。それを良いことにうちの学生たちはいつもの如くまとまってしまった。また、詰めて座ればベトナムの学生も入れたと思うので、座席指定しても良かったかもしれない。

* グループ間の事前打ち合わせから教員が除外されている例があった。可能であれば、事務方から趣旨等について、リーダーにのみ電話等で口頭説明・確認をすれば意思疎通がうまくはかれたのではないかと思う。

* 「あなたは何グループですか?」と、海外の研究者との会話が始まるきっかけとなり、また全員が質疑を担当することで、他のシンポジウム等とは違う、皆が参加者となる雰囲気にする事ができたのではないかと思う。せっかくグルーピングしたわけでもあるし、実際に会ってセミナー前に軽くグループ内での自己紹介時間などがあると、より良かった。

- * 事前連絡について、メールの返信がない方がグループに数名いた。セミナー開催前に 1 時間程度グループごとで顔をあわせて話し合う時間があればより交流しやすかったのではないか。
- * リーダーとサブリーダーがどのような経緯で決定したのかを知りたい。* 同じグループということで他大学の方たちと話しやすくてよかった。
- * 学生が座長をすることで、議論が活発になってよかった。当グループに関しては、同じ研究室が大半となっていたため、新たな交流を図る面からは不十分だったかもしれない。
- * 「やらせ」質問（事前に質問とその答えを用意してあった）が多かったと感じるが、学生の訓練に主眼を置くならそれもやむをえないかと思う。

②良くなかった

- * The head and subhead of group should communicate closely with the members to discuss about the questions or other things.
- * It should do have activity to members of each group.
- * Secretary or Organizing Committee should be prepare the seat for participants in the same group, when they arrive at the meeting room.
- * The communication within participants is limited.

どちらともいえない

- * 質疑を活発にすること自体は必要ではあるが、疑問点は創り出すものではないと思っている。特に義務化せずとも活発に議論できていたと思う。但し、座長になった人は質問が出ない場合にどうしても質問をする慣例(?)があり、その座長を助ける為には質問を考え出すことは大切であると思う。なので、座長を補佐する意思を生み出す為にグルーピングは必要ではあるとは思っている。それを踏まえて、グループリーダーが事前にメンバーの意思疎通を図って、座長、タイムキーパーなどの仕事を割り振るといった形式を提案する。これにより事前の連絡を活発に行い、連帯感を養うことができると考える。それにより自分達の代表として座長を買って出た人を補佐する為に他のメンバーが質疑を準備し、自然と議論が活発化するのではないか。

<あなたが考える発表及びセミナーの運営方法>

- * 全員のホテルを同一にして、夜などの空き時間に懇親できる時間があればなお良かった。
- * 学生の口頭発表数が多かったこと、また学生同士が活発に質疑応答していた点が高く評価できる。ポスター発表の件数を増やし、口頭発表者も口頭発表と同じ内容のポスター展示を行い質疑の時間を長く取れば、学生の勉強になるばかりでなく、さらに交流が深まると思う。例えば、口頭発表のみを先に行い、その後、ポスターセッションとして、ポスターのみの人に加えて、口頭発表者のポスターも同時に行うなど。次年度国内開催では、日本からの参加者はさらに増えると思われるので、ポスター演題を増やしてはいかがでしょうか。私の研究室からも総出で参加したいと考えている。
- * 学生間でも専門的な議論が行えると良いかもしれない。
- * 事前に 1 時間程グループのみでミーティングの時間を設けても良かったかも?? 会場で同じグループの人を探すのが大変だったので。いろんな人に話しかけることになったので良かったのかもしれないが。
- * 遅れて参加したこともあり、ポスターをあまり見ることができなかつたため、状況がよくわからないが、時間が許せば、ポスター発表者にも 1~3 分くらいの簡単なプレゼンをみんなの前でもらうとよいかもしれない。

【YSS2012 での発表及び質疑応答】

<あなたにとってセミナーで新たな知識や技能を得ることができましたか?>

- ①できた →それはどんなことですか、具体的にお書き下さい?

- * 1) リン資源が重要であるとの認識、
- 2) ベトナム人が日本人と非常に似た国民性を持つという発見、
- 3) 大学レベルまたは研究室レベルでも国際化に向けた取り組みが着実に進められているということ、
- 4) 学力と英語力が正比例するという現象が動かし難いものであるということ。
- * ベトナムのタオさんが米国留学中に糖鎖生物学の研究に携わっており、将来的な当該分野での共同研究の可能性を感じることができた。
- * 自分が直面している研究上の問題について、研究テーマの先行研究を行っているタイ人研究者とディスカッションを行うことができ、改善のヒントを得ることができた。
- * 東南アジア各国の研究レベルを改めて体感することができた。留学生受け入れの際の参考としたい。
- * 各国のバイオリファイナリーへの取り組みを知ることができた。
- * 自分にとっては分野外の人も多くいたので様々な知識を得るきっかけになった。
- * 英語でのコミュニケーション能力
- * 英語によるコミュニケーションの向上
- * 特定の人に偏らず質疑応答が、活発な質疑応答が行われ、盛会なセミナーだった。各国の研究者の興味の対象や研究レベルもよくわかり、今後の留学生受入などに大いに役立つ。
- * 関連研究の発表を聞き、今後の研究へのヒントを得ることができた。
- * 英語で質問され、理解し、ちゃんと英語で答えをまとめることができた。
- * 国により様々な社会背景があり、それから生ずる問題点が存在する。資金や技術の差はあれども、研究者は社会の問題を克服する為に研究するという根底は万国共通あることを、今回のセミナーで知ることができた。
- * The Phosphorus now is in concerned; and it should be sustainably use.
- * Compounds isolated from Streptomycetes can be used as antibiotics.
- * The knowledge of improving heterologous expression. The knowledge of utilizing GC-MS.
- * The YSS2012, I got techniques and suggestions from participants:
 - 1) Good comments to research activity that it can improve my current work,
 - 2) Suggestions of research in biotechnology sectors and other relate fields,
 - 3) Methods and experiments process that it maybe can adapt to my work.
- * I got to know the various research topics from different senior and junior researchers on Biotechnology, all are very interesting.
- * Mining Phosphorus is what we should concern, especially current mining on it in Cambodia.

② できなかつた (原因)

- * 自分の英語能力の乏しさが一番の原因。また、自分の研究内容と似た研究発表が少なかつたこともあり、こう活かそう、と思える内容が少なかつたこともある。ただもちろん、自分の発表でいただいた質疑応答の内容は本当に参考になり、そこはもちろん新たな知識獲得に繋がっている。

【あなたの発表】 < 今回の発表は今後の研究の中で活用できますか? >

できる

- * 国際的会合での発表は初めてだった。恙なく終えることが出来たが、時間をオーバーしてしまったので、次回への反省事項とする。
- * ベトナムの方の英語の発音の癖、研究テーマの志向の一端が垣間見ることが出来、今後の国際交流の参考になった。
- * 研究についても、研究以外のことについてもタイ人、ベトナム人、カンボジア人、ラオス人の方々と交流することができた。そのため研究室に在籍している留学生とのディスカッションに対する不安はなくなり、自

信を持てるようになった。

- * 発表はこれまでもしてきた内容なので今後、特に活用することはないが、質疑応答でこれまでにない質問を受けたので参考になった。
- * 希少微生物の代謝物の探索。
- * 放線菌の生育温度の違いによるより詳しい二次代謝物質の生産の違い。
- * 質問を受けたので、それに対する回答を得ることで今後の研究に活かせる。
- * 研究中の課題を発表したので質疑応答は、大いに役立った。
- * これまでの内容を整理し、まとめることができた。質問内容などから、発表でわかりにくかった点を知ることができ、また、別の視点から考察することができた。
- * カンボジアの先生から、リン資源のことで話があり、中国資本がリン鉱石を持ち帰っているのが困るとの話があり、彼の方からカンボジアのリン事情について調べて伝えたいと言われた。貴重な情報を得ることができた。*自分の発表の質疑の際、思ってもみない質問が来たことから、社会背景が異なれば、物事の受け取り方も異なることが分かった。自分の考えていることを、相手に納得してもらう為には特にイントロダクションの部分に気を使う必要があることを学んだ。
- * All of my presentation will be utilized in my further research.
- * The use of the combination of zooplankton as bioindicators by comparing the bio-data and the chemical data.
- * I was asked several questions and comments from the audience. From those discussions I have got some new ideas for my future work of my study.
- * There were some presentations related to my research. From the discussions among the presenters and the audience, I have got several new ideas to think more deeply about my research. I will try to apply those ideas in my future works.
- * I am just one of the YSS committees, I have not provided any presentation to the seminar, but I would try to push my collages who provided presentation in this seminar to put their presentation in their future researches.

できない (と思われたこと)

- * 先に述べた質疑応答の内容は活かせると思う。また、今までは日本国内でしか発表の機会がなかったということもあり、今回世界に目を向けた自分の研究というものを考える機会になった。
- * 発表そのものは、別の機会でも多く行っているのので、本セミナーでの発表をすることにより特別に得られたものというのは思い当たらない。
- * Because my research activity, it still lack many factors to support research: funding, equipments and chemicals.

改善意見

- * 事前の語学力の向上
- * セミナー時座席指定による、半強制的な国際交流の機会を作ること。
- * ポスター発表の場所が狭く、大変聞きづらかった。厳格に時間が定められておらず、あまりにもフリーな感じであったので、全員の積極的な意見交換があまり行われていないように感じた。
- * スライド作製にあたって、共用パソコンの Power Point のバージョンを教えていただければより助かった。2010で作製したが、共用は違っていたようで、直前にかなりバタバタしてしまった。それか、各自のパソコンを用意させることも手であったかもしれない。
- * 空港での移動の際、戸惑うことがあったので全体に対する指示がもう少しあればわかり易かったと思う。

- * セミナーの会場について：テーブルが欲しかった、無線 LAN を準備しておいてほしかった、柔らかい椅子にしてほしかった、昼食は学生食堂などに食べに行きたかった。
- * 今回の会場は椅子が硬くて困った。
- * 会場の大きさが参加者人数よりも小さかった。
- * 会場が少し狭いように思われた。
- * 会場が狭過ぎたと思う。
- * 会場が狭くきつかったが、先方の事情もあるので致し方ないであろう。
- * 今回の会場は人数に合わなかったため、ちょっと狭いと思う。会場の椅子も硬くて困った。
- * グループリーダーが仕事を割り振る形式にする方が良い。
- * I found the overall program systematic and very well organized. It would be much better if the room for the presentation was little bigger as presentations from all the sections held in the same room.
- * Some of the oral presenters are just come to read, and even didn't know how to read. Thus, before sending the participant to do the oral presentation, the committee from each country should evaluate and judge whether the participant could do the presentation or not, and if they are not good enough, train them; or let them do the poster presentation only because they are all granted with Master Degree.
- * The venue of the seminar is not good enough for such a big and international seminar; the room should be big enough, the screen should be read and seen by the participants.
- * Should give long period of the training.
- * Should have activity group tour to young scientists before they attend YSS.
- * The English proficiency and presentation skill of some presenters are still limited which require to practice more before providing Oral presentations

肯定的意見

- * 英語での発表経験という貴重な体験と、学外・国外の研究者からの研究者や学生の意見を聞くことができた。
- * 多くの質疑応答があり、活発なセミナーだった。
- * 学生のグループ分けはよかったように思う。
- * 研究者間にグループを作り、質疑応答をさせたこと。
- * 活発な質疑応答のうえ、コーヒブレークや懇親の場でも活発な情報交換が行われ実りあるセミナーであった。
- * 他大学の学生と同じ部屋で泊まるのは学生間の交流を深めた。
- * グループ自体は連帯感を生むので良いことである。
- * There was a very good opportunity to know different new ideas such as, Nukadoko and the traditional preservation system of Japanese pickles. It was very interesting to me.
- * There was a very nice opportunity for the cultural exchange among different people from different country.
- * Encourage closely research activity to young scientist and trainee.
- * Even the capacity of some presenters are still limited, it is good chance for them to learn to showing the result of their work in both poster and oral presentation

その他

- * 懇談会で何人かに自己紹介かお国自慢なりをしてもらうと一層親睦が深まる気がする。
- * 海外の研究者と交流でき、研究に対するモチベーションが上がるよい刺激となった。

- * チケット、交通手段、宿泊先などスタッフの方々の準備のお陰で不安になることなく準備ができた。当日も安心してセミナーに参加することができた。
- * It is really good that the program group members from different countries so that all the member can read and focus on each individual study better and ask questions.
- * Give scholarship or long training to young scientist for development in the future.

【懇談会及び宿泊箇所等】

- * 宿泊場所は豪華で、また買い物も行きやすく良かった。懇談会も参加者の意識が高く、お互い混じり合う努力を見せた人がいたのは好ましかったが、名札をしていない人が多く、また名前を聞いても覚えられず困った。
- * 非常に豪華なホテルで、快適に過ごすことができた。
- * 懇談会も宿泊場所も申し分なく、準備していただいた方々には深く感謝する。今回の懇親会は立食だったということもあり、動いて多くの方と交流できた。もし来年着席だった場合は、国がバラバラになって座るよう調整すると良いと思う。宿泊場所も本当にこんなところに泊まっていいものか、と驚きましたが、衛生環境がそこまで良くはない国で、安心して泊まることができ、体調的にも何事もなく、充実した時間を送れた要因であったと思う。
- * 宿泊施設、懇談会ともにとっても豪華で満足した。
- * どの会場も、宿泊場所も非常に良かった。
- * ホテルの手配では色々とお苦勞されておられると思うが、宿泊については、もっと安いホテルで良いのではないのでしょうか。(ハノイに限らず、バンコクでも)
- * 宿泊先のホテルは最高だった。泊まる予定だったホテルも良さそうだったので気になるが。ベトナムでの懇談会で日本食を食べる必要があったのかな?と思った。でもベトナム料理に飽きかけていたので良かった。
- * ホテルの部屋割りやグループ分けなど他大学の方たちと一緒にになっていたことと、食事会や立食パーティーなどの交流する機会がたくさんあり、他大学の方たちと仲良くなれたことが非常に良かった。自分自身の英語の力がもっとあれば外国の方たちともっとコミュニケーションすることができたと思い、残念な部分だった。
- * 初日の夜の懇談会はたいへん美味しく立食パーティーだったので、移動がしやすくいろいろな人たちと話すことができた。宿泊ホテルは豪華でよかったが、会場と少し距離があり、道があまり補整されておらず、マイクロバスによる移動が少し疲れた。
- * 懇談会、宿泊施設は素晴らしく、申し分ないと思う。
- * 十分すぎるホテルであった。
- * 懇談会では、一人ずつ簡単な自己紹介をしてもよかったかもしれない。人数が多すぎて時間が足りないかもしれないが。宿泊したホテルは大変よかった。もっとグレードの低いホテルにして、費用を節約してもよいのかもしれない。
- * 宿泊ホテルが学生には豪華すぎた。
- * 大変満足だった。今回のセミナーに参加でき、すごく光栄です。他国の研究者と交流し、さまざまな意見やアドバイスをいただき、自分の研究だけではなく、今後の人生にも貴重な経験となった。
- * The accommodation was very good. Also the traditional and non-traditional foods were up to the mark.
- * known and understand more research event in different countries,
- * Good step of cooperation and communication to young scientist.

全体にハノイ若手研究者育成セミナーは、満足できるものでしたか？

- * 既知および新たに出会った東南アジアの研究者や学生と懇親することが出来、非常に満足できた。
- * 満足している。本当に海外の若手の研究者と交流できたことは刺激になり、モチベーションが高まっていることは事実。セミナー後もFacebook等のSNSを通して、さらに交流できている。あとは自分の英語能力をもっと上げた状態で参加しておけば、という後悔だけだったと思う。ただ、帰りに関西国際空港に着いた瞬間に、いったんの集合もなく、各自解散な流れだったのが若干寂しかった。
- * 私にとって初めての対外発表として記憶に残る良い機会になった。
- * 大満足です！発展途上国の現状を知る良い経験となった！
- * 様々な国の方たちの発表を聞くことができ自分の研究をもっと頑張ろうと思える機会になり、非常に満足している。
- * 海外の人たちとセミナーを行い、コミュニケーションをとることは素晴らしいことだと思った。日本人は英語に対してネガティブな人が多いので、このセミナーのように海外の人と発表・意見交換することは大事だと改めて感じた。
- * 満足できた。
- * たいへん満足できるセミナーであった。
- * 大変満足することができた。学生にとっては、とくに良い経験となった。英語で発表したことはもちろんだが、各国の同世代の学生と交流することができたのは、大変よい刺激となった。
- * 東南アジアの若手研究者の育成に効果的なセミナーだと思ったが、日本人の学生を育てる点もより強く意識する必要を感じた。
- * 私たち学生にとって、英会話の向上と国際的コミュニケーションのチャンスを得ることができるのは大変いい経験と思う。
- * 満足した。アジアの研究者を志す若者同士が交流することで、仲間意識や、逆に競争心も持つことができ、帰国してから新鮮な気持ちで自身の研究に取り組むことができるようになった。
- * I would like to thank JSPS Asian Core Program for arranging such nice seminar for the Young Scientists. It was a very nice trip to Hanoi. The seminar was systematic very nicely organized with the kind cooperation of the respected teachers, students and the secretaries.
- * Very satisfied: Give good chance for introduce the result of research, Good beginning of research to know many things of biotechnology sectors.

<JSPS Asian CORE Program 及びセミナーに対する意見や要望>

- * 今回初めて本事業に参加したが、運営に携わっておられるスタッフのご尽力を目の当たりにし頭が下がる思いだった。このような地道で継続的な活動が、周辺国との良好な関係を維持していく上で非常に重要な役割を果たしていることを身をもって知ることが出来、良かった。本事業を通じて我が国と交流国の間に強い絆が結ばれ、将来の互恵的発展に繋がる様、微力ながらも引き続き本事業の一員として務めを果たしていきたい。
- * 写真をアップしていただきたい。
- * 毎年の積み重ねが、双方の信頼感を作っていく、着実な成果を積み重ねている。日本側も各国の研究者との共同研究や学生の派遣、あるいは受け入れと他の制度も使って交流の促進を図っている。息の長い交流が続いており、その結果、学生で来日した研究者が、各国の大学や研究機関で研究者として活躍し、彼らの学生をつぎの世代のヤングサイエンティストとして育てている。
このような交流は、東南アジア地域での日本の科学技術レベルの普及を着実に進めていくとともに、日本の研究者の東南アジア各国への貢献を確実なものとしている。

- * 私自身を含め、若い研究者に貴重な機会を与えていただき、大変感謝している。各国の研究者と大変良い関係を築けていると思う。
- * セミナーが終了した翌日にハノイの土壌肥料研究所へ行ったが、非常に地に足のついた研究をされていることに感銘を受けた。本当に、ベトナム、カンボジアやラオスの国々の発展に役立つ研究を指導する必要があるように思う。
- * 日本側から見れば、海外の研究者と密に連携をしつつ研究を進めることは、特に若い研究者にとっては刺激的であり、自身の研究者としての資質を高める上で大きく貢献していると感じている。必ずしもアジア諸国が相手である必要はないかもしれないが、いずれにせよ、国際交流経験の少ない若手研究者にとってはよい契機となっている。一方、相手側国の立場から考えてみると、日本との共同研究を実施することにより研究の質と進捗速度は間違いなく大幅に向上している。その反面、実施されている研究内容の多くが、単なる「日本の後追い」でしかなく、オリジナリティーに乏しい印象は強く受ける。基礎研究や教育が主眼であるならこれは必ずしも悪いことではないが、各国のバイオ産業の強化に資する研究成果・人材育成を目指すのであれば、その国の産業形態にマッチし、その発展に寄与しうる研究立案を意識する必要があると感じられる。ただし、これは JSPS や日本側研究者の問題ではなく、相手国の研究者が提起すべき問題である。